

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.66		鎌倉山	生物地理区分	コナラ林(東日本)		
			地域区分	中山間地		
所在地	都道府県	栃木県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	茂木町		4.低地	5.その他	
	集落名称等	九石	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
		7.池沼・湿地		8.社寺林	9.人工林	
		10.その他(広葉樹林)				

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
都道府県立自然公園、狩猟鳥獣捕獲禁止区域	「栃木景勝百選」
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
	観光パンフレット等に写真が使用されている、風景探勝や撮影の来訪者が多い、自然公園や景観保全のための地域指定がある 鎌倉山から見る牧野台地の眺望、雲海は写真愛好家からも親しまれている。



撮影時期：2008年1月
写真の説明：地域の人たちによる落葉さらい



撮影時期：2008年1月
写真の説明：落葉さらいの後の風景

NO.66		鎌倉山		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	栃木県			2.団体・企業・学校等
	市町村	茂木町			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	九石			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称		烏生田地区むらづくり協議会		
	その他の主体の名称				
目的 :主 :その他	2. バイオマスなど新たな資源としての利用				
	対象となる資源				
	利活用方法等		地域の人たちが、落葉を収集し、『茂木町有機物リサイクルセンター』に搬入し、堆肥化原料として利用している。枯葉は、堆肥の発酵に必要な細菌が豊富に含まれている非常に優秀な原材料となっている。枯葉を収集するために下刈作業を行うことで荒れた山が美しい山に生まれ変わり里山の保全にも繋がっている。		
	3. 環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用				
	自然観察会		*	首都圏自然歩道『関東ふれあいの道』のコース	
	環境教育・学習活動				
	里地里山体験・環境保全				
	農林業体験活動				
	エコツアー				
	その他				
5. 地域の良好な景観の保全・修復					
取組内容					
連携・協働による取組内容・役割分担等					
取組の特徴や強調したい点					
茂木町有機物リサイクルセンター『美土里館』を核として、これまで不用なものとして扱われてきた、畜産廃棄物としての糞尿や日常生活から出される生ごみ等の廃棄物に加え、森林組合と連携しての間伐材等を『資源』として位置づけ『優良な堆肥』にしてリサイクルを進めることで、自然がもっている物質循環を促進し、豊かな土壌を回復させ、減農薬を進め、地域環境の維持・保全・向上に配慮したまちづくりを進めている。					

取組の概要	堆肥化原料に里山の下刈り、落葉収集し、土壌回復、減農薬に貢献	課題グループ 農林業
事例の特性	新たな製品化や利用技術開発	
取組の中で他の地域の参考となる点	里山林の落ち葉を資源として位置づけ、有機物リサイクルセンターに持ち込むことで優良な堆肥化原料となり土壌回復や減農薬に役立てることにより、荒れた山の下刈り作業も進み、地域環境の保全・向上につながっている。	